

# CALL 英語 B Computer Assisted English Learning B

新

素養科目 1、2 年 / 後期 1 単位 選択科目

科目責任者 稲田 俊一郎 (英語・言語学研究室)  
 授業担当者 A: 稲田 俊一郎、B・C 組: 林 弘美

## ■ 教育目的 (各クラス共通)

コンピュータとインターネットを有効に利用し、主に英語リスニング能力の向上を目指した演習を行う。

## ■ 学習到達目標 (各クラス共通)

1. マルチメディア機器を利用し、英語による情報の正確な理解や効率的な収集方法、発信能力を身に付ける。
2. テレビニュース番組等の自然な英語に慣れ、できる限り聴き取れるようにする。
3. コンピュータを用いて英文を作成する能力を高める。

## ■ 授業内容

### A 組 稲田 俊一郎

テレビニュースを題材としたテキストを用いて、海外メディアが発信する英語を自分で理解するための学習方法を学ぶことを目的とする。

- メディア英語のボキャブラリーを出来るだけ増やす。
- 基礎的な英語の発音のしくみを再確認する。
- 英語を聴き取るために必要な知識や能力を獲得する。
- 記事の英文を聴きながら同時に話者の意図を把握していく方法を学ぶ。

初回の授業でガイダンスを行う。

準備学習 (予習・復習): 予習: 教科書の該当範囲に知らない単語があれば、辞書で調べておく (20 分-30 分)。また、付属 CD の音声を確認しておく (10 分-20 分)。

復習: 教科書の各ユニットの内容理解の問題や追加のリスニング課題を用いて各自で行う (15 分)。

課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法: 期末試験 (70 %)、オンラインリスニング課題 (MY-CAST による) の参加度 (30 %) で総合評価する。

教科書: 『CNN: ビデオで見る世界のニュース (20)』 関西大学 CNN 英語教育研究会編著 (朝日出版社)

### B・C 組 林 弘美

下記テキストを用い、アメリカの学生向けニュース番組 CNN10 を題材として、リスニングを中心とした演習を行う。各学生が音声ファイル等を操作し、自分のペースでリスニングに取り組んだ上で、大体的内容が理解できているか確認を行い、その後、より詳細な部分の聞き取りへ進んでいくようにする。あわせて、語彙力の増強、音読練習、重要表現・文法事項の確認を行う。

MY-CAST 上の音声ファイルやオンライン映像により、各自のペースで授業中及び自宅での学習を進められるように指導する。また、授業では取り上げない Unit に関する簡単なレポートを課す。

その他、コンピュータを利用して、次の演習を行う。

- ワープロソフトを用いた英文作成
- インターネット上の音声ファイルの利用法の確認
- インターネットによる英文情報検索
- CD-ROM 教材を利用したリスニング演習 (TOEIC 対策を含む)。

授業外の時間にも、引き続き自発的に、これらの演習を取り入れた学習を進められるようになることを願っている。

準備学習 (予習・復習): 予習: 各ユニットに入る際に、Vocabulary と Vocabulary Exercise に取り組むこと。(30 分) / 復習: 各ユニットの音声ファイルやオンライン映像を視聴し、内容理解を深めるとともに、Dictation または Repeating や Shadowing に取り組むこと。やり方は授業時に指示する。(50 分)

課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法: ・毎回の授業時における各学生の演習の状態を CALL 教室の学習支援システムで確認し、到達度を把握する。

- ・小テストを行い、間違いやすいところなどの解説を行う。
- ・講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。
- ・期末試験 (90 %)、小テスト+レポート (10 %) で総合評価する。

教科書: CNN 10 Vol. 2 -Student News- 関戸冬彦・小暮正人・Jake Arnold・Christopher Mattson・長和重 (朝日出版社)